

情報ピックアップ



ストップ狂犬病

犬の登録と予防注射は飼い主の義務

問い合わせ 環境都市推進課 (市庁舎8階、☎65・4136)

狂犬病はとても恐ろしい

狂犬病は、狂犬病ウイルスを持つ犬などの動物にかまれたり、引つかかれて感染します。一般的に潜伏期間が1〜2カ月で、風邪に似た症状からはじまり、錯乱、攻撃性などを呈し、昏睡状態になります。人が感染して発症すると、ほぼ100パーセント死亡するといわれる恐ろしい病気です。

世界のほとんどの地域で発生している、日本でも感染する恐れがあるので、万が一に備えることが大切です。

登録・予防注射は屋内犬も対象

生後91日以上の犬は生涯に1度の登録、年1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられています。狂犬病発生時のまん延を防ぐためには、予防注射が重要です。

また、狂犬病が発生した場合に、その地域の飼い犬の検診などを速やかに行うために、どこに何頭いるのか、登録情報で市が把握しておく必要があります。

屋内で飼育している犬も全て、飼い犬登録と予防注射が必要です。

登録手続き

登録手続きをすると、「鑑札」と「門票」を交付します。(写真)

* 家の入り口などに貼る *

* 首輪などに付ける *

鑑札 済票(プレート)

狂犬病予防注射済票交付手数料 550円

動物病院などで接種することができます。接種後、「狂犬病予防注射済票」と「狂犬病予防注射済票(プレート)」が交付されます(写真)。注射だけでなく、済票の交付も受けなければなりません。済票が交付されない場合は、注射後に渡される「狂犬病予防注射済票」を持って、環境都市推進課で交付を受けてください。

狂犬病予防注射

登録手数料 3000円

鑑札は首輪に付け、門票は家の入り口などの見やすい場所に貼ってください。
登録手続きは次の場所のほか、受付可能な動物病院もあるので、各動物病院にお問い合わせください。
場所 環境都市推進課(市庁舎8階)、大正支所(大正本町西1)、川西支所(西町西2)

オビヒロカメラレポート obihiro camera report

新総合体育館の活用法をみんなで考える



平成32年3月に供用開始予定の新総合体育館について、意見を出し合うワークショップが開催され、幅広い年代層の14人が参加しました。同施設は充実した運動施設としての整備はもちろん、さまざまな人が集うコミュニティづくりの場としての活用も期待され、参加者は発想豊かに意見交換をしました。スポーツをする人もしない人も、小さなお子さんからお年寄りまで、気軽に立ち寄り、楽しめる憩いの場となるといいですね。(5月28日、とかちプラザ)



新体育館の夢が広がる時間

市政のお知らせを放送しています

◆テレビ 市役所だより(OCTV 11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。

◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

広報おびひろの感想を聞かせてください

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。問広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、F23・0156、✉report@city.obihiro.hokkaido.jp)

災害時における市民の安全確保に向けて、指定避難所の一つである帯広北栄小学校で、避難所運営を担当する市職員を対象に研修を実施しました。



市職員向け防災研修

災害時に必要な資機材などの備蓄品や、地域防災無線、特設公衆電話の使用方法などを確認した後、昨年の台風時に避難所で実際に起こった事例などを話し合い、避難者への適切な初期対応の在り方を情報共有しました。今後も、災害時において、職員一人ひとりが最前線で避難所運営に当たれるよう、研修を重ねていきます。(5月23日、帯広北栄小学校)

年中児から小学校3年生までの200人と保護者が集まり、走り方の基本を学ぶ教室が行われました。



幼児と児童の走り方教室

年中児、年長児、小学生に分かれて、どの子も指導者のアドバイスを真剣に聞き、合図に合わせてしゃがむ、飛び跳ねるといった基本運動から、正しい姿勢で走る練習などを楽しく学んでいました。みんな運動会などで成果を発揮できたかな?(5月21日、帯広の森陸上競技場)